

道

2020年4月1日
(第55号)



小田川

次のことに「はい」か「いいえ」で答えなさい。「(ミニ)2週間)自分が役に立つ人間だと思えない。「毎日の生活に充実感がない」。▼あなたは、どう答えますか。そして、どう感じますか。これは、老いてきて介護予防支援を受ける人に必ず発せられる問いかけです。しかも、定期的に、何度も。そう定められています。▼老いることは衰えていくことです。それまでできていたことができなくなります。老いるとはそういうものでしょう。普通の姿です。ところが、先の問いには「役に立つ」ことが人間として普通のことだ、という価値観のようなものが含まれているように思えます。できていた頃との落差に悩み、心に穴が開いて、わけもなく疲れている人に向けられる言葉ではありません。▼「できなくなった」自分を受け入れ、新たな自分を構築して生きようとしている人を、応援する。ミニに「介護」の大きな意味があると考えます。▼さて、「新型コロナ」で世の中が騒然としています。相手がよく分からないので余計に怖い。さらに、高齢者などが重症化しやすいと聞くので気持ち収まりません。暮らして経済面などの先行きも不安です。こんな時、従来、弱いところ、皺寄せがくることが多くありました。「自助」力が弱い人に、「共助」「公助」が届くよう望みます。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp

H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林道也



遠田 椋の木